



2023年5月26日

各 位

会社名 コニシ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 大山 啓一  
(コード番号：4956 東証プライム)  
問合せ先 常務執行役員 岡本 伸一  
(TEL 06-6228-2877)

### 「中期経営計画 2026 (2024年3月期～2026年3月期)」策定のお知らせ

当社は、2024年3月期を初年度とする「中期経営計画 2026 (2024年3月期～2026年3月期)」を策定しましたので、お知らせいたします。

当社の歩みは、1870年創業の薬種商から始まり、その後、洋酒や工業用薬品の販売から化学品を扱う商社として事業を拡大、1952年には合成接着剤「ボンド」を開発するなど、お客様の願い、社会の要望にお応えしながら「化学」を扱う企業へと変化していきました。現在のコニシグループは、合成接着剤「ボンド」を製造・販売するメーカーとしての「ボンド事業」、創業からの問屋業の流れを受け継ぎ化学品を扱う専門商社としての「化成品事業」、そして関係会社を中心に展開する社会インフラおよび建築ストック市場の補修・改修・補強を目的とした「工事事業」を主力事業として、事業展開を行っております。

今回新たに策定しました「中期経営計画 2026」は、「ボンド」「化成品」「工事事業」のそれぞれが、新規開拓の強化や成長分野への注力をさらに推進し、過去最高となる売上高・営業利益を目指して参ります。

また、生産、物流、DX関連に過去最大規模となる約150億円の設備投資を予定しており、更なる事業拡大に向けた成長投資を行って参ります。なお資本政策につきましては、株主還元強化、資本効率の向上を目的に、過去最大となる約60億円の自己株式取得を計画し、「総還元性向 約60%(3期平均)」を目指して参ります。

「中期経営計画 2026」の詳細につきましては、次ページ以降の添付資料をご覧ください。

以 上

# 中期経営計画2026

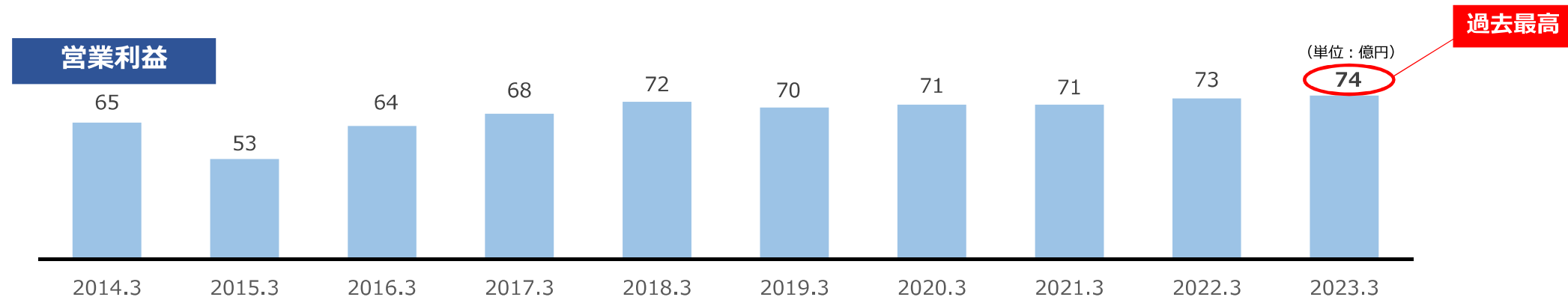
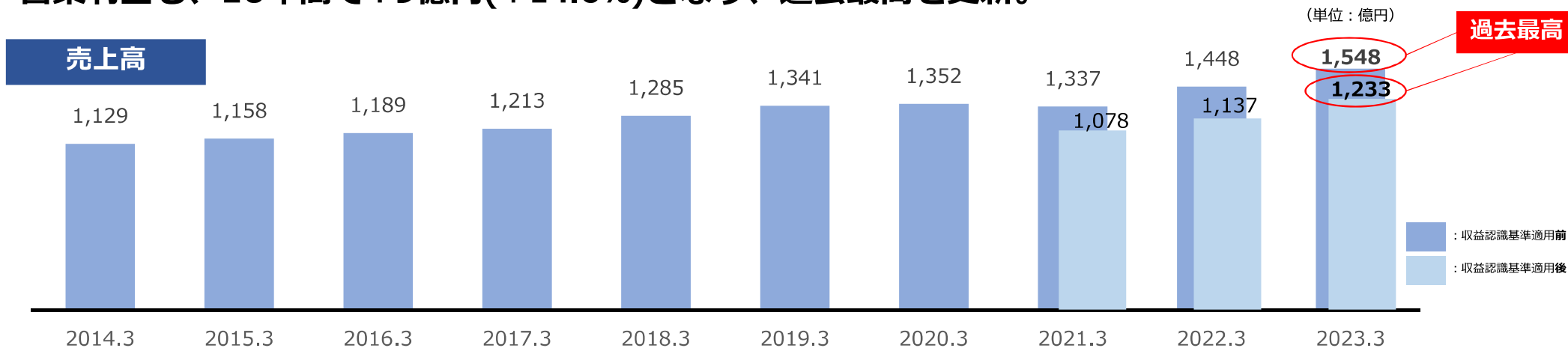
Medium-term management plan 2026



## コニシグループの過去10年間の連結業績推移



- ・直近期の売上高(収益認識基準適用前)は、10年間で+419億円(+37.2%)となり、過去最高を更新。
- ・営業利益も、10年間で+9億円(+14.6%)となり、過去最高を更新。



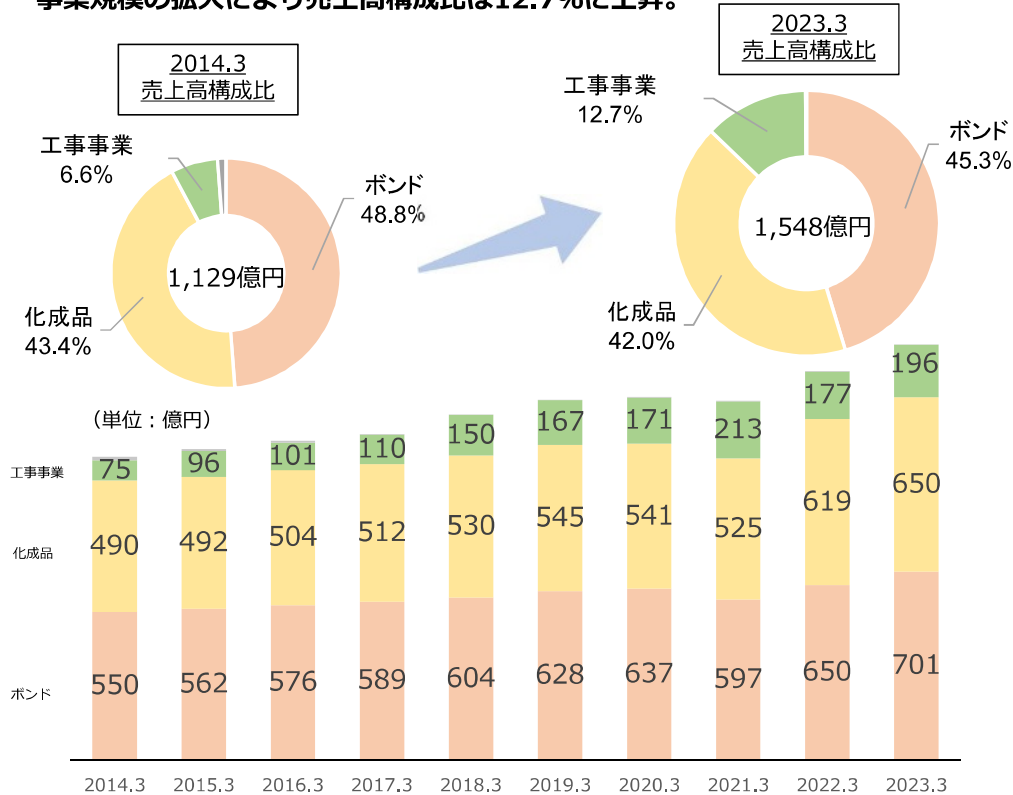
注) 2022年3月期から「収益認識基準」を適用しております。2021年3月期は遡及適用後の数値を記載しております。

# コニシグループの過去10年間の事業ポートフォリオの変化



## 売上高 (収益認識基準適用前)

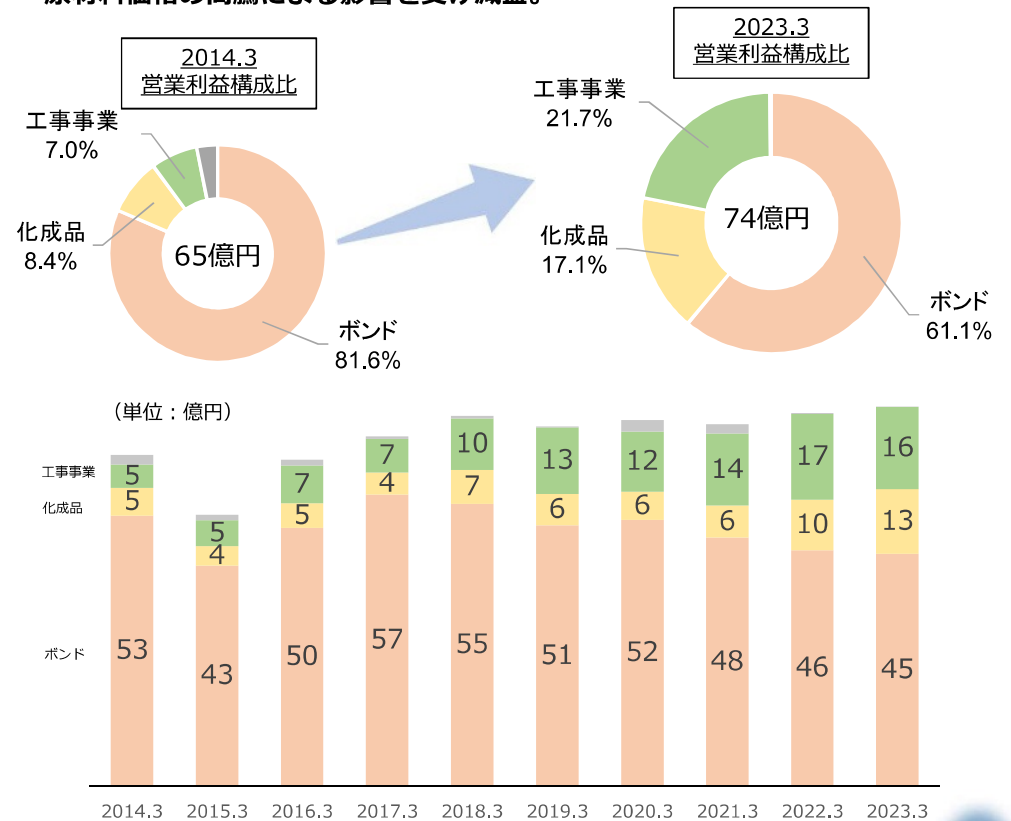
- ・ **ボンド**：10年間で+150億円 (+27.3%) の701億円を達成。
- ・ **化成品**：10年間で+159億円 (+32.6%) の650億円を達成。
- ・ **工事事業**：10年間で+121億円 (+161.5%) の196億円を達成。
- ・ 工事事業は、主力である補修・改修・補強工事の伸長と、買収による事業規模の拡大により売上高構成比は12.7%に上昇。



(現行のセグメント区分に基づき過去のセグメント情報を組み替えております)

## 営業利益

- ・ 10年前は営業利益の約8割がボンド事業だったが、化成品事業の収益性改善に加え、第3の柱として工事事業の拡大が進み、営業利益構成割合が大きく変化。
- ・ ボンド事業の直近3年間は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済停滞と原材料価格の高騰による影響を受け減益。

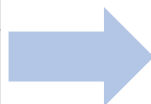


(現行のセグメント区分に基づき過去のセグメント情報を組み替えております)

# 中期経営計画2026 数値目標



	2023年3月期
売上高	1,233 億円
営業利益	74 億円
EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却費)	96 億円 (減価償却費+のれん償却費：約22億円)
ROE	7.2 % ※
設備投資	85 億円 (直近3年累計)
株主還元 (配当総額+自己株式取得総額)	62 億円 (直近3年累計)



	2026年3月期 (2023年3月期比)
売上高	1,408 億円 (+14.1%)
営業利益	97 億円 (+30.9%) ※
EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却費)	129 億円 (+34.5%) (減価償却費+のれん償却費：約32億円)
ROE	8.0 %
設備投資	150 億円 (3年累計)
株主還元 (配当総額+自己株式取得総額)	120 億円 (3年累計)

※ 特別利益の固定資産売却益71億円の影響を除く

※ 「2024年3月期の営業利益予想 93億円」(注)と比較して、最終期の営業利益の増加額が低い要因は、設備投資による減価償却費が最終期に大幅に増加しているためです。

(注) 2023年4月28日「2023年3月期 決算短信」に開示

ボンド・化成品・工事事業それぞれが、新規開拓強化や成長分野への注力を推進し、売上高・営業利益ともに、過去最高更新を目指す！

過去最大規模の設備投資および株主還元を実施

## 中期経営計画2026 グループ重点戦略

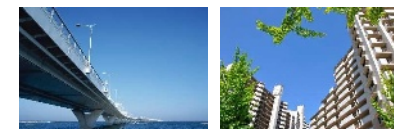
### 新規開拓・新製品開発

- ・住宅需要の変化に影響を受けにくい「産業資材用途（電子電機・自動車業界）」への新規開拓活動・新製品開発を強化



### 成長分野へ注力

- ・社会インフラ（橋梁、トンネル等）や建築ストックの長寿命化に向けた「リペア市場」への取り組みをさらに強化



### 設備投資

- ・生産、物流、DXに、過去最大規模の設備投資を実行



### 資本政策

- ・株主還元の強化と資本効率の向上



### 人的資本

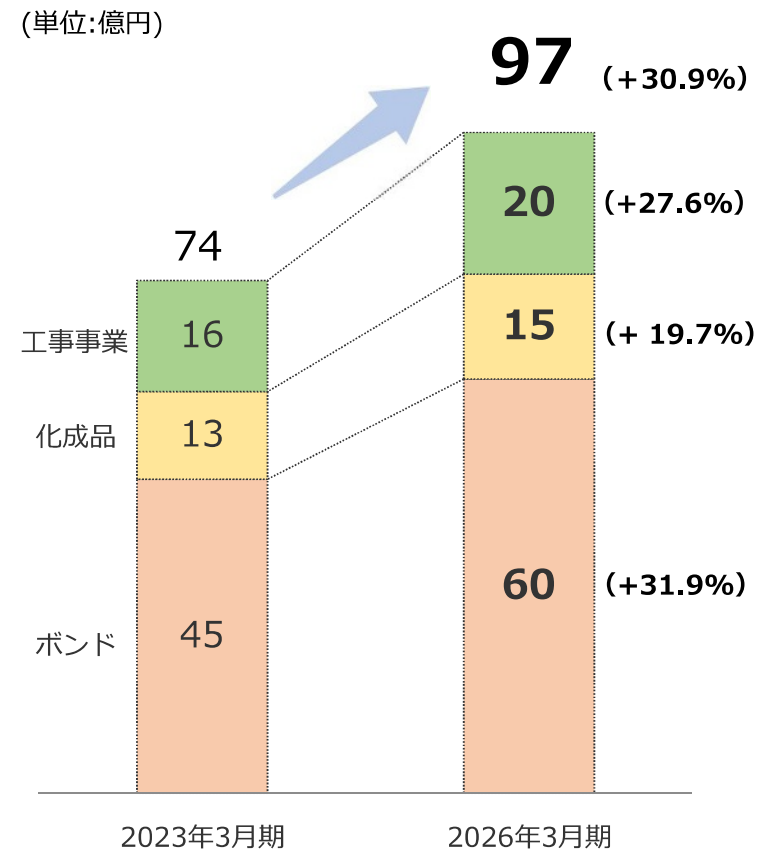
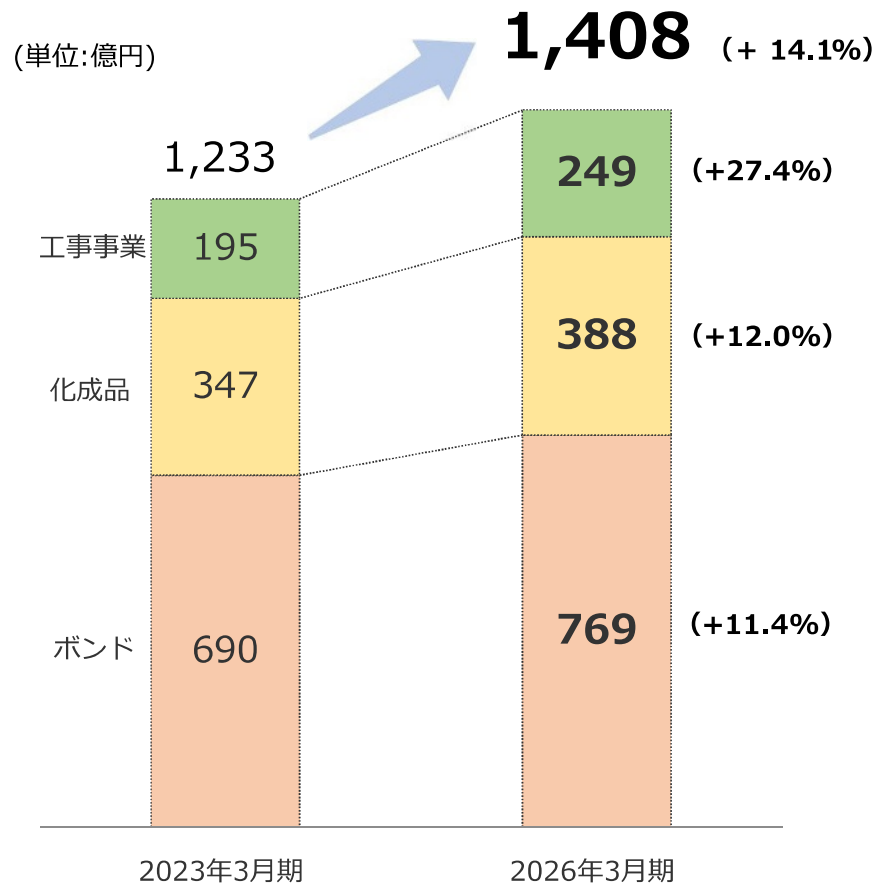
- ・従業員の給与水準および初任給の引き上げ
- ・女性活躍推進を含む、多様な人材の登用

# 中期経営計画2026 セグメント別数値目標



## 売上高

## 営業利益

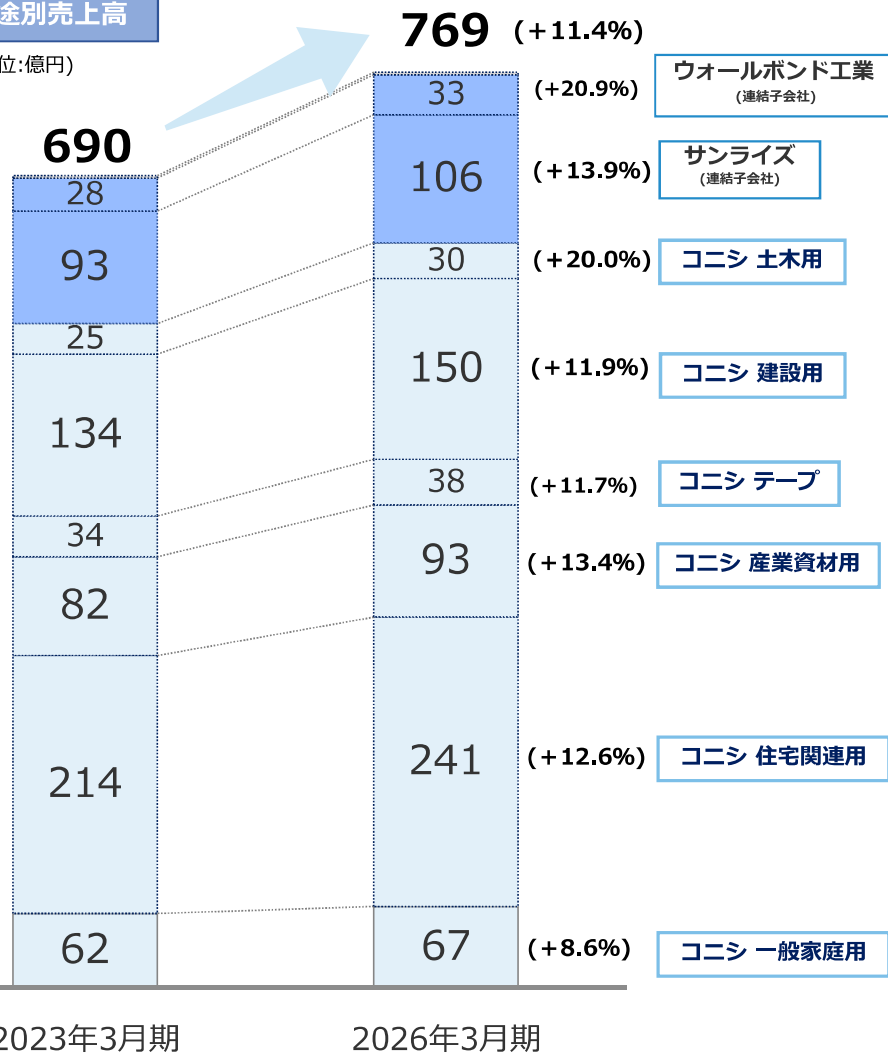


# 中期経営計画2026 事業戦略 ～ボンド事業（メーカー部門）～



用途別売上高

(単位:億円)



## ① 産業用途の新規開拓推進 ～非住宅分野の強化～

- ・電子電機、自動車向け製品の開発推進
- ・主力である水性形接着剤のさらなるシェア向上

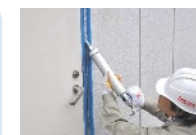


事業領域の拡大を進め、  
産業資材用で 売上**11億円増** (2026.3)を目指す

## ② 社会インフラ・建築ストック長寿命化への取り組み推進

- ・リペア市場の深耕開拓、土木建築補修用の新製品・新工法開発の推進
- ・建築用シーリング材のシェア向上(シェア約40%→50%)

土木用：売上 **5億円増** (2026.3)  
 建築用シーリング材：売上 **10億円増** (2026.3)  
 建築補修材等：売上 **6億円増** (2026.3)



## ③ 既存主力業界である住宅関連用の更なる拡販

- ・コア事業である住宅関連用は、リフォーム需要の取り込み、新製品開発、他社切り替えによりシェア向上を目指す



住宅関連用：売上 **27億円増** (2026.3)



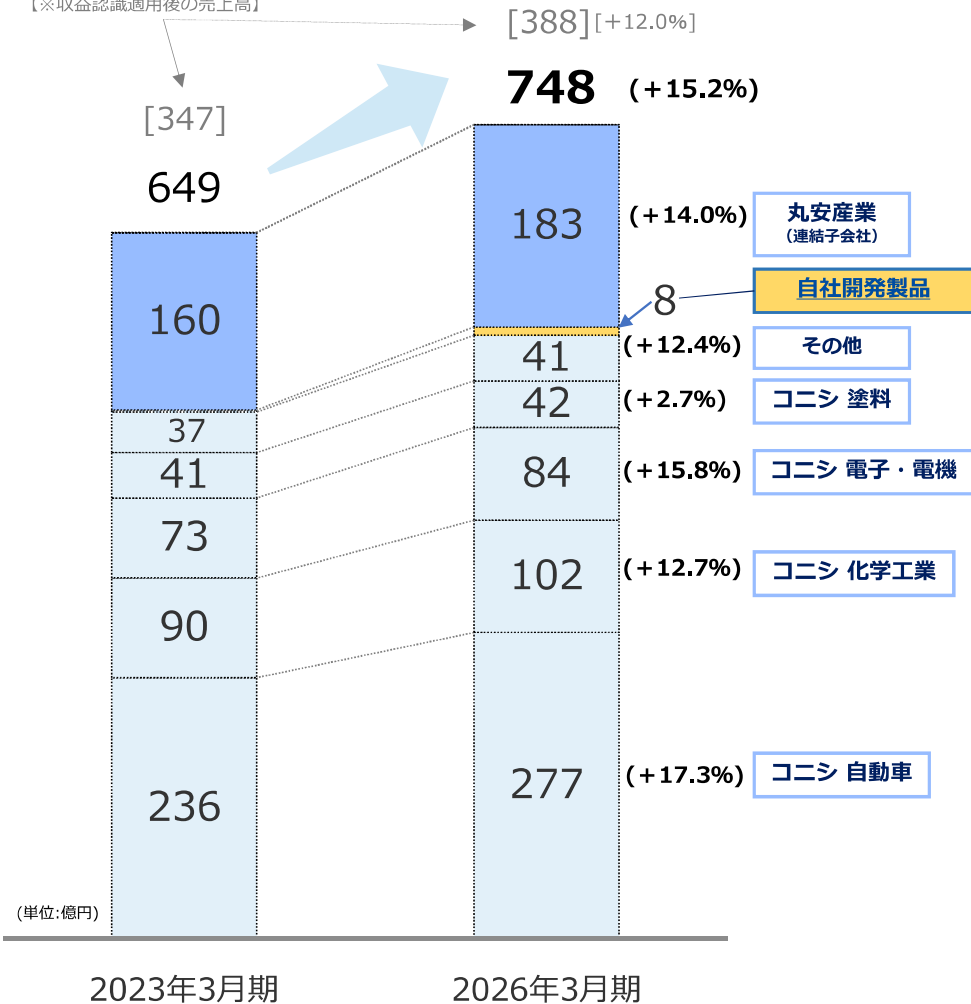
# 中期経営計画2026 事業戦略 ～化成品事業（商社部門）～

当セグメントの売上高は「収益認識基準」適用による影響が大きいため、**収益認識適用前**にて記載しております。



## 業界別売上高

【※収益認識適用後の売上高】



## ① メーカー機能を併せ持つ商社へ

- ・材料科学研究所による自社開発製品の上市
  - ◇自動車・電子電機業界向け樹脂材料の開発
  - ◇塗料・コーティング材用中間原料の開発

自社開発の推進、早期上市により、  
 自社開発製品で **売上8億円増**(2026.3)を目指す

## ② 注力分野への販売強化

- ・自動車、電子電機業界での新規・深耕開拓の推進
  - ◇放熱材などの新商材の拡販
  - ◇半導体関連商材の販売強化
  - ◇丸安産業(株)連結子会社と協業し、仕入れ・販売機会の創出

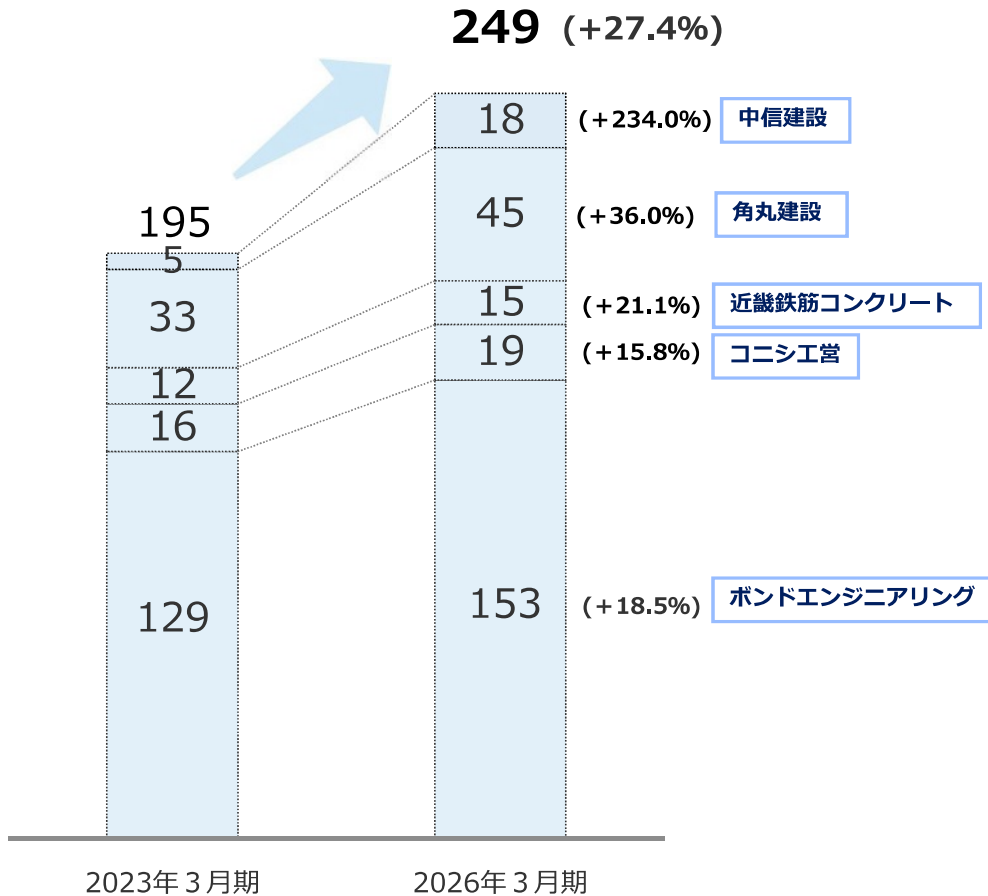


# 中期経営計画2026 事業戦略 ～工事事業（工事部門）～



## 関係会社別売上高

(単位:億円)



## ① リペア市場(土木補修分野)における事業拡大

◇建設後50年以上を経過する橋梁は、2030年に約55%となる見込み。

- ・ボンドエンジニアリング(株)を中心に、社会インフラの老朽化対策工事に注力し、更なる事業の拡大を図る。



## ② 事業規模拡大に向けた体制の構築

- ・有資格者(土木施工管理技士等)の採用強化に注力
- ・社内育成による資格取得の推奨



## ③ M&Aによる事業拡大

- ・社会インフラの補修・改修工事業の中で、特にリペア需要が見込まれる「橋梁分野」で相乗効果が発揮できるM&Aを推進

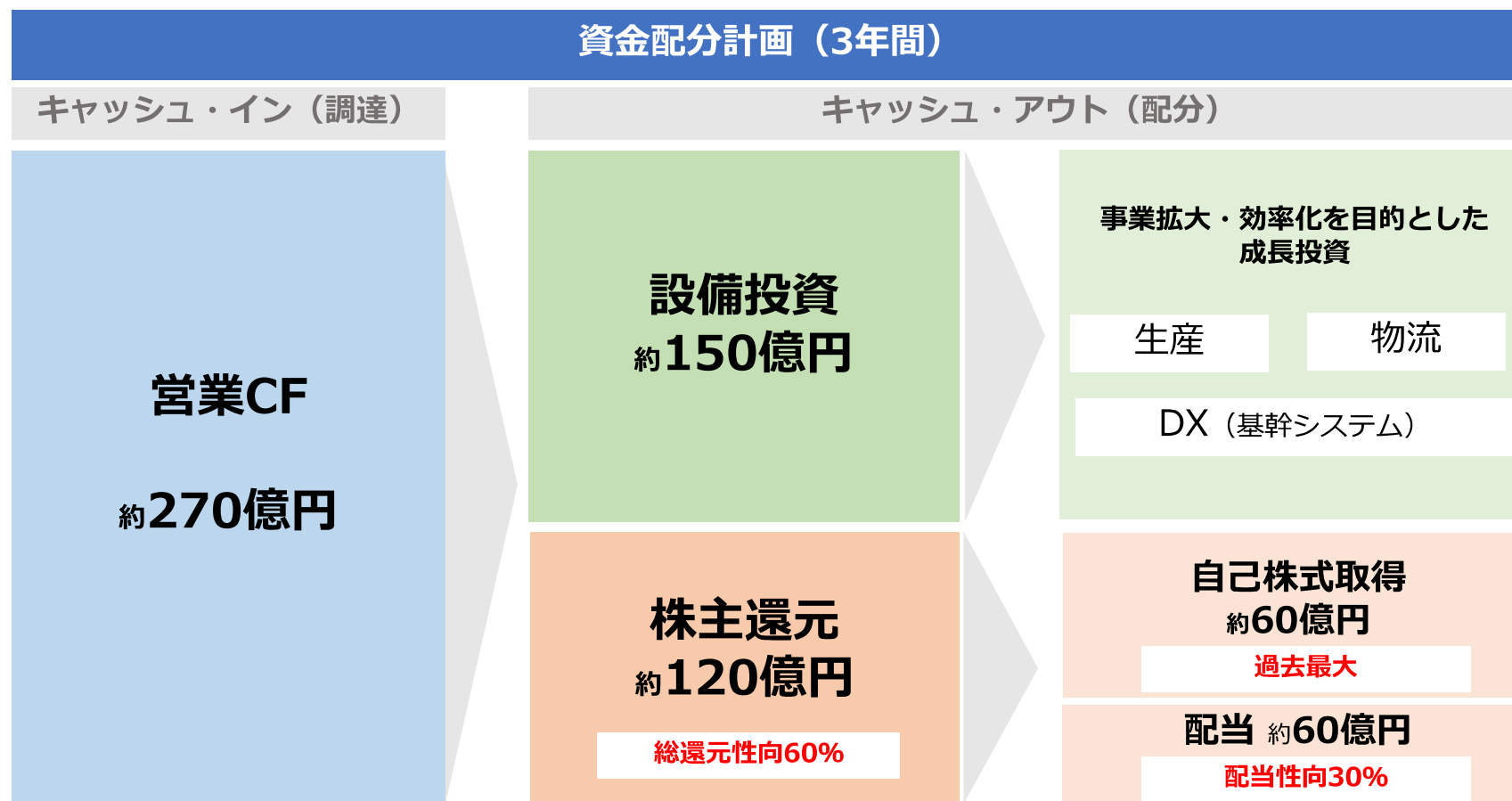
### 【工事事業グループ M & A実績】

- 2013年：近畿鉄筋コンクリート(株)：橋梁などの上部床版工事業
- 2017年：角丸建設(株)：土木建築工事業
- 2020年：(株)和泉(角丸建設(株)に吸収合併)
- 2020年：山昇建設(株)(ボンドエンジニアリングに吸収合併)
- 2023年：中信建設(株)：土木建築工事業

# 中期経営計画2026 資金配分計画



成長に必要な設備投資に加え、安定的な配当と自己株式取得により株主還元を強化



※ M&Aに必要な資金については手元資金から充当する予定です。

※ 取得する自己株式は原則消却する予定です。

※ 3年間の資金配分のイメージ図であり、運転資本の増減による影響は含めておりません。

# 中期経営計画2026 主要設備投資案件



～過去最大規模の設備投資～

生産能力の増強 および 効率化・合理化、DXを推進

3年累計 約150億円

(※下記以外の設備投資含む)

## ① 生産・物流体制の強化

○「コニシ栃木工場」新製造所・物流倉庫の建設 (2025年4月稼働予定)

- ・水性形接着剤の生産能力の増強 (現生産能力の1.5倍)
- ・生産工程、充填、入出庫作業の自動化 (省人化によるコスト削減)
- ・水性形接着剤の生産2拠点化(滋賀・栃木)によるBCP対策と東日本エリアへの配送効率向上

○「サンライズ小山工場」シーリング材製造設備の増設 (2025年4月稼働予定)

- ・コニシ製シーリング材の生産2拠点化 (滋賀・栃木)
- ・既存設備の増設 (生産効率向上、省人化によるコスト削減)

○「ウォールボンド工業」新工場・新物流倉庫の建設 (2024年4月稼働予定)

- ・老朽化対策 および生産工程、入庫作業の自動化(省人化によるコスト削減)

## ② DXの推進

○ 新基幹システムの導入 (2025年4月導入予定)

- ・現在の課題、ビジネス環境等を考慮した効率的・合理的なシステムの導入

約95億円

約25億円



# 配当方針について

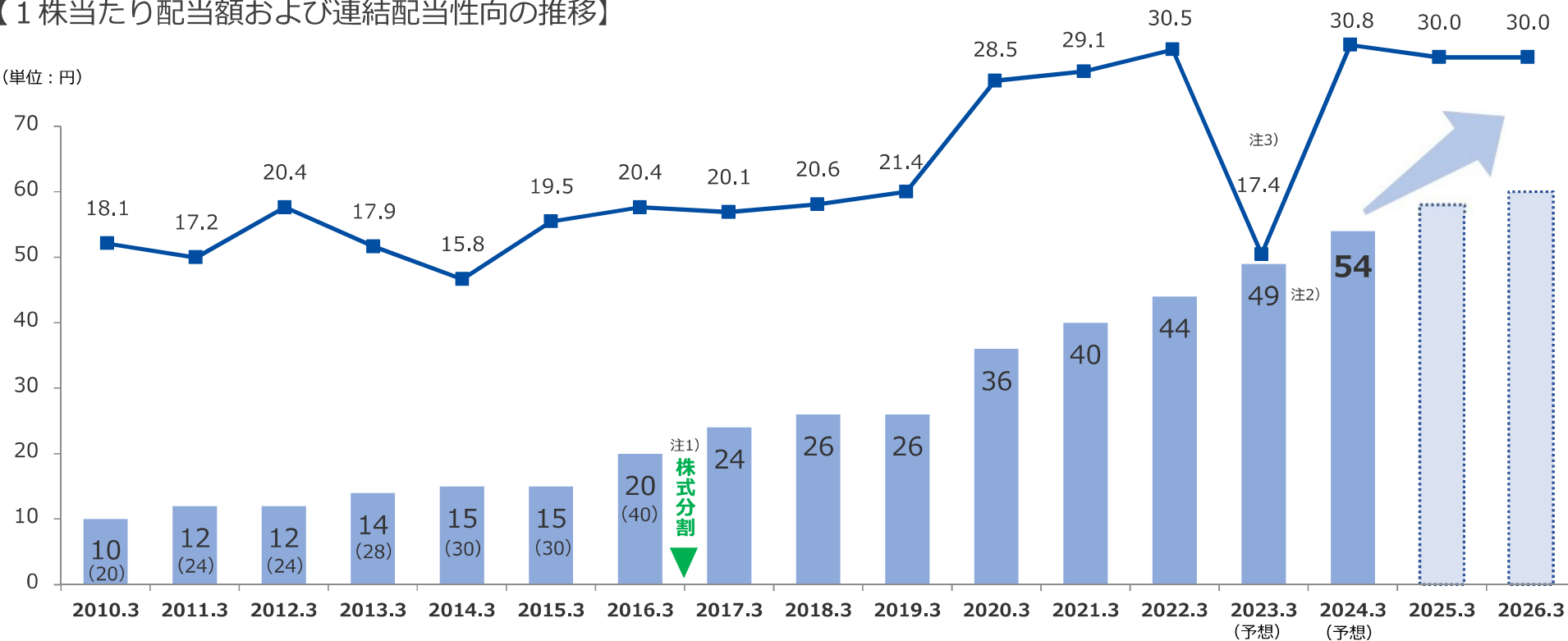


## 配当方針

連結配当性向30%以上を目安に、毎期の業績等を勘案しながら継続的かつ安定的な配当を実施する方針です。

### 【1株当たり配当額および連結配当性向の推移】

(単位：円)



注1) 2016年4月1日付にて株式分割（1株→2株）しております。2016年3月期以前の1株当たり配当額については当該株式分割調整後の金額を記載しております。

注2) ボンド発売70周年記念配当5円を含む

注3) 事業活動に直接の関わりのない不動産売却益4,989百万円（税引き後）は除外して配当額を決定しております。当該影響額を控除した配当性向は34.6%となります。

**免責事項**

業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。

**<IRに関するお問い合わせ>**  
**コニシ株式会社 経営企画室**

TEL: 06-6228-2877

E-mail: [konishi-ir@bond.co.jp](mailto:konishi-ir@bond.co.jp)